



① いのちをつなぐ未来館



教訓が、いのちを救う。



② 東日本大震災津波伝承館



③ 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館



④ いわき震災伝承みらい館

3.11
DEWSHO
ROAD

「震災伝承施設」深化の会

～伝承活動による災害の自分事化に向けて～

参加無料

近年、自然災害が激甚化・頻発化する中で、「いのちを守る」行動を促す災害の自分事化が喫緊の課題となっており、災害伝承の役割はますます高くなるとともに、震災の記憶や教訓を伝える震災伝承施設の期待も従前にも増して大きくなっています。

このような背景を踏まえて、内閣府と国土交通省では地域において災害やその教訓をわかりやすく伝える活動を「NIPPON防災資産」と認定する制度を創設し、第1回認定がなされた「3.11伝承ロード」が優良認定の一つとして選定されました。

この度の「優良認定」を機に、災害の自分事化に貢献する、より深く高みを目指した伝承活動となる、震災伝承施設の本気の伝承活動を紹介する『「震災伝承施設」深化の会』を開催することとしました。

令和7年

首都圏初開催!!

日時 8月30日(土) 13:00 ~ 15:30

会場 東京臨海広域防災公園
「そなエリア東京」
2F / レクチャールーム
オンライン同時配信



Google Map

参加申込み方法は裏面をご覧ください

プログラム

開 会

13:00

- 主催者挨拶
- 来賓挨拶

活動報告

13:15

東日本大震災における 伝承活動報告4施設

- ① いのちをつなぐ未来館 (岩手県釜石市)
- ② 東日本大震災津波伝承館 (岩手県陸前高田市)
- ③ 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 (宮城県気仙沼市)
- ④ いわき震災伝承みらい館 (福島県いわき市)

- 進 行: 東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤 翔輔氏
- 質問者: ● 全国地方新聞社連合会 副会長 (岩手日報社 取締役執行役員東京支社長) 菅原 智広氏
- 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 くらしづくり・地方創生部門 観光・地域活性化ユニット マネージャー 引地 美香氏

閉 会

15:30

主催 (一財)3.11伝承ロード推進機構

共催 国土交通省 東北地方整備局 岩手県 宮城県 福島県

後援 (一財)国土技術研究センター

問 TEL.022-393-4261 FAX.022-393-4271 (一財)3.11伝承ロード推進機構 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-2-26 コンサスビル3階

津波被災地に立地し、パネルや映像、被災した現物資料の展示や語り部講話などを通じて、震災の記憶や教訓を伝えています。